

鳴門市ふるさと納税 寄附金充当事業報告

このたびは、鳴門市に心のこもったご寄附を賜りまして、誠にありがとうございました。皆様からいただいた寄附金を活用して、実施した事業をご報告いたします。

なお、平成30年度事業として活用させていただいた寄附金の残額につきましては、鳴門市ふるさと活性化基金に積み立て、今後活用させていただく予定です。引き続き鳴門市に、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

鳴門市長 泉 理彦

● 生活支援体制整備事業

②社会福祉及び高齢者福祉の向上に関する事業

高齢者一人ひとりが住みなれた地域で、生きがいを持って暮らしていける“支え合い”と“助け合い”による地域づくりを進めるため、誰もが気軽に立ち寄れる居場所や介護予防の拠点づくり、生活支援のサポートやサービスを行うための「暮らしのサポートセンター」設立を支援するための補助金を交付しました。

補助金の交付によって、住民が主体となって運営する高齢者の「居場所」「介護予防」「生活支援サポート」の拠点作りを支援したことで、市内3か所に「暮らしのサポートセンター」が開設されました。

みんなの家Asa居



中庭の広い
空き家1階を利用

むや



商店街の
空き店舗を利用



● 子どもはぐくみ医療費助成事業

①子育て支援及び青少年健全育成等の次世代育成支援

子どもはぐくみ医療費助成については、平成28年度は、小学校修了までの子どもを対象に医療機関を受診する際の医療費の助成を行っておりました。

平成29年度にふるさと納税充当事業として同制度の医療費助成対象の拡充を図り、中学校修了までの子どもが医療機関を受診する際の医療費の助成を行っております。

平成30年度につきましても、ふるさと納税充当事業として、昨年度に続き医療費助成対象の拡充を図っております。

● 救急・消防強化整備事業

④防災・防犯対策及び救急・消防等の充実強化

救急力の強化として、心筋梗塞や狭心症等の緊急性の高い不整脈を高精度に発見できるように、第一出動救急車に新たにモニターを積載し整備しました。

これにより、的確な医療機関への伝達が可能となり、より迅速かつ適切な手術の準備等が行えることとなりました。

また、消防力の強化として、災害が起きた際に、迅速に対応を行うため、性能の向上した新たなエアージャッキを整備しました。これにより、人力では持ち上げられない重量物の除去や、活動スペースの確保など多様な現場での活用が想定されております。

● 地域文化財保存活用事業

⑦文化・芸術活動の推進及び文化財の保護活用

板東俘虜収容所跡に残る、1919年に建立された「ドイツ兵の慰霊碑」について、石材の風化に伴う剥落や崩壊を食い止めるための保存修復作業を実施しました。

また、見学者の利便性を向上させるため、県史跡「鳴門市森崎の貝塚」の老朽化した説明板を建て替えました。



ドイツ兵の慰霊碑



「鳴門市森崎の貝塚」の説明板

● 鳴門市理数オリンピック開催事業

⑥教育環境の充実及び生涯学習の推進

理科・数学に対する興味や意欲を伸ばし、理数好きの生徒を増やすことを目的として、市内の中学生を対象に「鳴門市理数オリンピック」を開催。

当日は、中学1・2年生23名が参加し、成績上位者への表彰を行いました。

また、鳴門教育大学の協力を得て、「考える楽しさや探求する楽しさ」を体験する教室を実施。生徒の理数に対する興味・関心を深める一助となりました。

● 水域環境改善・浄化対策事業

⑤環境の保全及び循環型社会の構築等

ヘドロの溜まった川・海・湖・沼などにEM（有用微生物群）を培養したEM活性液等を投入することで、ヘドロを徐々に分解することができます。

市内にある川等の水質をよりよくするために、地元自治会等にEM活性液培養装置を貸与し、身近な河川や水路でEM活性液を活用した水域環境改善に取り組みました。

● ヲォルティスホームタウン連携事業

③-1 徳島ヴォルティスへの支援

徳島ヴォルティスのホームゲーム開催日に、「駅前足湯ふろいで〜」をはじめとして鳴門駅前周辺を装飾し、徳島ヴォルティスを応援する機運を高めました。

また、ブルー化プロジェクトとして、市内商店街へのタペストリーの設置、スタジアム周辺にチームカラーの花植え、鳴門駅前にヴォルティスのデザインを施したマンホールの設置を行いました。

ホームゲームイベントとして、鳴門市民デーでは、市スポーツアドバイザーの里崎智也氏にお越し頂き、会場を盛り上げました。



マンホール

駅前足湯のれん



平成30年6月30日開催 鳴門市民デー